



# 北海道再生!!

—一人に温かい道政—

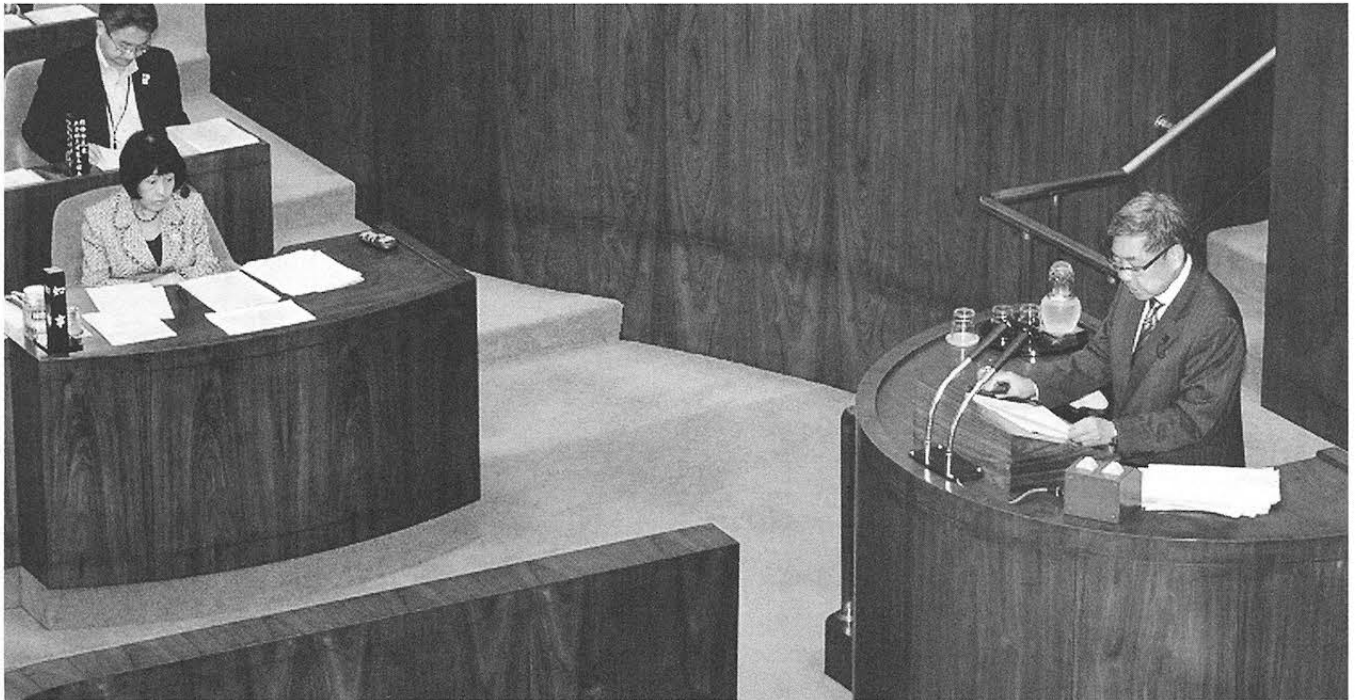
# 道政ニュース

# 高橋とおる

発行 2017年秋~冬号 No.57

高橋とおる事務所

〈自宅〉函館市美原4丁目2番14号  
TEL・FAX 47-0867



道議会本会議での代表質問 (9/15)

## 衆議院選挙が終わって

九月二八日、大儀無き突然の解散で衆議院選挙が始まり、道内の結果は、選挙区で自民党六名、立憲民主党五名、公明党一名、比例区では自民党三名、立憲民主党三名、希望の党一名、公明党一名となりました。

この選挙でも高橋はるみ知事は相変わらず自民党候補の応援に東奔西走し「はるみのお願いです」と訴えていました。

基本的に自治体の首長は自ら立候補するにあたり、「道民党」や「市民党」を名乗り中立の立場をアピールします。なぜかというところでは中央政府のようなイデオロギー的なことはあまり馴染まなく、首長も議員も、道民や市民の立場で行政を運営する事を旨とするためです。

今回の選挙でも政党別の比例区得票率で、道民の有権者は、自民党二八・八一%、立憲民主党二六・三八%、希望の党一二・二五%、公明党一一・〇三%、共産党八・五一%などとなり、これだけでも与党は三九・八四%、野党は四七・一四%となっていることから、有権者の政党支持率は与党に偏ってはおりません。

高橋知事は、事ある毎に中央要請に行きますが、常に与党の国会議員にだけ要請を行い、野党の国会議員の所には顔も出しません。

道内選出の衆参両院の国会議員は、与野党関係なく道民の事を念頭に活動をしていますから、北海道の知事であるならば全ての国会議員に対して要請すべきではないでしょうか。

しかし、今回の選挙が終わっても高橋はるみ知事の本質は変わることなく、全道民の願いを携えながら相変わらず自民党と公明党詣でを行うことでしょう。

# 第三回定例道議会報告

第三回定例道議会は、九月十二日(火)に開会、道補正予算、「国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書」などを可決し、十月六日(金)に閉会しました。

民進党会道民連合会派の代表質問には、私が立ちました。J R 北海道の路線問題では道の基本方針が明らかでは無いことから私だけではなく、与党を含む各会派からも知事の姿勢を問う厳しい質疑が展開されました。しかし、知事は道の対応や国からの支援への対応について具体的な答弁を避け、オール北海道としての取り組みにも消極的な答弁に終始しました。

一次産業については、農業・水産業ともに、様々な品種で不作、不漁が続いて

おり、とりわけ度重なる自然災害や価格の低迷が及ぼす農業への影響、日本海側等の水産業では、水温の上昇による影響や外国船の無秩序な操業による資源減少が続いており、さらには、E U ・ E P A による道内一次産業への影響も懸念されま

すが、知事は国の施策を追随するだけとなっています。そうした姿勢の知事の道政が十四年半も続いていることから道職員も国の指示を地域に流すだけの仕事になりつつあります。

今回は、冒頭に知事の多選問題を取り上げ、権力の長期化によって起こる弊害と硬直化について知事の見解を求めましたが、自身の問題であるにも関わらず、部下が作った答弁を丸読みするだけで、いつものよう

に質問に直接答えず、得意のはぐらかしに終始したことから、その先には、知事五選も視野に入れているのかとも感じました。

今回の代表質問では、本質、再質、再々質の後、特別発言まで行いました。

議案は、道投資単独事業費四十九億円など一般会計六十六億九、三百万円、特別会計一億八、四百万円の他に、十月六日の会期末には突然の解散による衆議院選挙等の実施に伴う軽費として一般会計に三十二億九、百万円が追加提案され、これによって二十九年度道予算の規模は、一般会計二兆七、七百四億円、特別会計六、四百九十億円の合計三兆四、百九十四億円となりました。

一方、二十八年度の道一般会計決算は、形式収支で四十九億九、八百万円、実質収支で三十六億七、八百

万円黒字となり、地方公共団体財政健全化法に基づく健全化判断比率は、実質公債費比率が二十・五％、将来負担比率三百十五・七％と、なおも厳しい財政状況が続いています。

※代表質問の詳細なやり取りは、高橋とおるホームページに掲載しております。

今定例会での新たな就任も含めて役職等を掲載します。

### ●北海道議会内役職

- ・水産・林務委員会委員
- ・北方領土対策特別委員会筆頭理事
- ・国際経済・文化交流促進議連常任理事
- ・日豪友好議連会長代行
- ・日中友好議連副会長
- ・日韓友好議連所属
- ・北海道・サハリン交流促進議連所属

- ・文化・音楽議連所属
- ・林業活性化促進議連所属
- ・スポーツ振興議連所属
- ・道議会南北北海道議員連盟事務局長

### ●民進党会派内役職

- ・民進党道民連合会派会長
- ・北海道消防議連会長
- ・国際交流議連会長
- ・日韓友好議連会長
- ・私学・教育議連会長
- ・薬剤師振興議連会長
- ・観光振興議連会長
- ・漁業政策振興議連会長
- ・医療関連振興議連会長
- ・航空ネットワーク検討PT(プロジェクトチーム)座長
- ・受動喫煙防止条例制定PT座長
- ・道議会議員定数問題検討PT副座長
- ・原発からのシフトを目指すPT副座長
- ・自転車推進条例(仮称)制定PT委員
- ・人口減少対策PT委員

- ・日越友好議連所属

- ・高橋道政検証PT委員
- その他、全国、全道、政党等の役職
- ・自治労全国自治体議員連合会会長
- ・自治労北海道政治フォーラム代表
- ・連合北海道と道議会議員
- 団との連携会議
- ・北海道地方自治研究所幹事
- ・北海道政策研究代表幹事
- ・民進党北海道8区総支部副代表
- ・民進党函館支部代表

## 高橋とおると道政を語る会開催

九月一日(金)午後6時より、ホテル函館ロイヤルにて「高橋とおると道政を語る会」を開催しました。

当日は、徳永エリ参議院議員や辻 泰弘北海道副知事、工藤壽樹函館市長や小田原輝和渡島総合振興局長はじめ、各地域後援会や企業・団体、そして日頃ご支援をいただいている多くの皆様およそ六〇〇名ほどの参加を頂き、盛大に開催することが出来ましたこと、心から感謝申し上げます。来賓の辻副知事からは、

日頃の道議会での活動が紹介され、工藤市長からは函館市との連携や日頃のエピソードなどを含めたご挨拶をいただき、会派の幹事長である北口雄幸議員からもユーモアを含めた挨拶をいただきました。

私からは、これまでに取り組んできた政策や現在の道政課題、市政と道政の連携などの議会報告の後、ご来場いただいた皆様への感謝の言葉を述べさせていただきました。

その後、函館市社会福祉協

議会奥野秀雄会長の祝杯でパーティーが始まり、同僚の笹田浩道議、福島恭二市議、阿部善一市議、斉藤佐知子市議、道畑克雄市議からもスピーチをいただきました。

アトラクションとして、ハワイアンバンド・村木永親とククナウインズのハワイアン演奏、同じく奥様のカプア村木小百合先生と教室の皆さんがフラダンスを披露し、私も途中からアロハシャツに着替え、ウクレレを持って飛び入り参加しました。ククナウインズのバック演奏とカプア村木先生のダンスソロの応援をいただき「オロハ・オエ」を披露しましたが、多少間違ってしまったようです。

和やかな内に恒例の抽選会も終わり、函館市町会連合新谷 則会長のお開きの乾杯にて今年の「高橋とおると道政を語る会」を終了させていただきました。

### ..... <高橋とおると道政を語る会スナップ> .....



辻副知事によるあいさつ 工藤市長によるあいさつ



道議会の仲間である北口議員

函館市社会福祉協会奥野会長の祝杯



活動を支えていただいている議員団



徳永エリ参議院議員



函館市町会連合会新谷会長の乾杯

# 写真で見る主な活動

※詳しい活動報告はホームページに掲載しています。

## 第14回全国地方議員交



第14回全国地方議員交流研修会  
実行委員長あいさつ (7/18)



道議会水産林務委員会意見  
交換会(根室) (8/4)



平成30年度文化財保存整備事業に係  
る予算確保の要請を受ける(9/28)



J R北労組函館地区本部  
第15回定期大会(9/30)



亀田本町地域少年野球交歓  
大会開会式 (9/30)



自治労北海道本部第59回  
定期大会 (9/30)



中国黒竜江省・副省長歓迎  
レセプション (10/3)



函館市交通労組定期大会  
(10/28)

### 道議会改革協議会設置

これまで、私たち党派が主張してきました「道議会・議会改革協議会(改革協)」がやっと設置されることになりました。

議会改革は不断に行われなければなりません。これまで、与党の大会派が議会に関する事は議会運営委員会の場合と主張し、改革の設置には消極的でした。

しかし、私が党派会長に就任してから、我が党派選出の副議長にも協力してもらい、党派会長会議で二度この問題を提起した結果、議長も理解を示し、自民党を除く他党派からも賛同を

得、一二月の第四回定例会では改革協で審議すべき事項を各党派が持ち寄り、精査した後に具体的な協議を始めることとなります。

道民の皆様には判りやすくより開かれた議会にするた

め、積極果断に改革を進めたいと思います。

### 北海道受動喫煙防止条例の協議経過

自民党派内における条例案への理解・調整不足から制定が遅れていましたが先般、超党派による「ガン対策北海道議会議員の会」の総会において、改めて修正された条例文案について提案され、併せて今後の進め方について軌道修正がなされたことから各党派で持ち帰り、年内に結論を持ち合せて、議会としての条例案の最終的な結論を出すことになりました。

これにより、新たに関係団体への説明や意見交換、パブリックコメント等の手続きに入ることになることから、二月中旬開催予定の第一回道議会定例会での制定にも注意信号が灯り始めました。

## 第3回定例会で採択された決議・意見書

- 朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射及び核実験に抗議する決議
- ・朝鮮民主主義人民共和国のミサイル発射及び核実験に関する意見書
- ・国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書
- ・診療報酬を引き下げず、地域医療を守ることを求める意見書

仮にこの定例会で制定したとしても、準備期間などを考慮し、施行は七月ないし十月になるのではと危惧しています。